

議事要旨

審議会の名称	令和5年度 第8回 豊見城市上下水道事業審議会	
事務局	豊見城市役所 上下水道部 参事監 高良 忍	
開催日時	令和6年2月20日(火) 10:00~	
開催場所	豊見城市役所 3F 第3会議室	
出席者氏名 (委員)	<p>同審議会規定第3条第1項</p> <p>◇第1号委員(学識経験者)</p> <p>平敷徹男(琉球大学名誉教授 外)</p> <p>加藤壮一(日本下水道事業団 教授)</p> <p>◇第2号委員(利用者代表)</p> <p>宜保勝美(豊見城市女性会)</p> <p>◇第3号委員(各種団体・法人関係)</p> <p>上原直彦(豊見城市商工会 会長)</p> <p>國吉久美(豊見城市商工会 女性部長)</p> <p>津森義弘(豊見城市自治会長会 とよみ自治会長)</p> <p>平良智秀(社会福祉法人おもと会 特別養護老人ホーム すみれ 施設長)</p>	
事務局職員	<p>豊見城市役所上下水道部</p> <p>大城上下水道部長、高良上下水道部参事監、比嘉総務課長、新垣施設課長、金城総務班長</p>	
会次第	<p>1.開会</p> <p>2.豊見城市上下水道事業経営戦略の改定について</p> <p>3.答申案について</p> <p>4.閉会</p>	
時間	担当	シナリオ
10:00	司会	<p>1.開会、資料の確認</p> <p>それでは、定刻になりましたので令和5年度第8回豊見城市上下水道事業審議会を開催いたします。</p> <p>前回の審議会において、経営戦略改定案について審議していただき、若干の修正の指摘がありました。ほぼ大筋で了承いただいている状況でございます。本日の期間まで、審議会の審議中ではありますが、現段階の進捗を市議会への報告を終えているところでございます。</p> <p>本日は、前回までの指摘事項の確認等を含め、答申書の最終確認を行い、11:30に委員皆様、応接室へ移動後、市長への答申を行うこととなっております。これまで、本日を含め8回の審議会を経ての答申となりま</p>

		<p>す。委員の皆様からも一言、ご意見ご要望などを市長にお伝えする時間を確保いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、審議会に入らせていただきますが、始めに、本日使用いたします資料を確認させていただきます。資料につきましては、経営戦略の修正箇所、「答申書案」の資料及び本日の会次第の資料を配布しております。</p> <p>→配布資料の確認</p> <p>今回の審議会についても、会議は非公開とし、議事録は発言者を特定されない形でホームページにて公開することと決定しております。配布しております議事要旨については、市ホームページにて掲載しておりますので、報告いたします。</p> <p>それでは、豊見城市上下水道事業審議会規程第5条第2項に基づき、平敷会長に進行していただきたいと思っております。それでは、平敷会長よろしくお願いいたします。</p>
10:05	会長	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>おはようございます。</p> <p>それでは、事務局より資料の説明をお願いいたします。</p>
10:07	事務局	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>*配布資料の説明</p>
10:15	会長	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>事務局の資料説明、ありがとうございました。</p> <p>資料につきましては、前回ご指摘のありました2か所の修正についての報告がありました。一つ目は、P.1の「料金改定の動きについては、別紙参照」の文言削除、二つ目は、P.8の「R6年度よりAIを活用した管路劣化診断を導入します。」との内容の文言追記の2点になります。</p> <p>本日、答申します経営戦略につきましては、節水意識の向上や将来のインフラ資産の大規模更新など様々な経営環境の変化により、更に厳しさを増すことが予想されます本市の上下水道事業において、経営状況の現状分析や将来の事業環境の把握、経営の基本方針について、これまで調査審議し、将来にわたり、安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画として、まとめてきました。</p> <p>大まかな内容としては、水道事業において、現時点では収支均衡が図</p>

		<p>られているが、沖縄県企業局の水道料金改定等、経営環境の変化を注視しながら、料金改定の必要性を適宜検討することを確認。下水道事業においては、他会計からの借入に依存する体質から脱却するため、まずは新規借入を無くすことを目標に令和6年度に使用料改定を行う。その後もさらなる経営改善を目指し、必要に応じて段階的な改定を検討する。</p> <p>全体的な項目としては、①水道及び下水道事業経営戦略については、社会経済情勢や事業運営状況を確認し、3-5年ごとに改定を行うこと。②事業資金等の目標設定。これは、T委員からのご意見で一気に更新需要を迎えることから所有する資産額の3割程度必要との意見もありましたが、今回の経営戦略については、初めての目標設定でもあることから、水道事業においては、料金収入の約1年分の14億円、下水道事業においては、使用料収入の約2年分となる6億円を目標としております。最後に③「経営戦略のひな型様式」に追加した原価計算書を活用し、<u>使用料水準について検討</u>を行う。原価計算書においては、将来の更新需要に係る経費が新設当時より増大することを見込み、計上する費用で、所有資産の3%の額を算出しております。</p> <p>資産維持費を加算した維持管理経費に対する料金等収入の割合を数値化した場合、水道事業が0.9、公共下水道が0.37、農業集落排水事業が0.12となる、必要額を示す1を大きく下回っており、各公営企業の経営が厳しい状況であることが改めて確認することができます。</p> <p>前回、改定に関する資料がありましたが、水道事業が平成5年度から約30年間、下水道事業が平成17年度から約18年間と長い間、同じ料金・使用料水準で事業運営が為されていることを確認しています。今後は、先ほど経営戦略の説明でもありました通り、社会経済情勢や事業運営状況を確認し、3-5年ごとに経営戦略の改定を行う際に、料金等改定についてもしっかり必要性を検討することを確認したところでございます。</p> <p>また、前回の審議会にて配布されておりました「水道事業」・「下水道事業」のこれまでの改定の動きに関する資料については、経営戦略に追加しないことを確認しております。</p> <p>さて、本日11:30からの市長への答申について、この内容で行ってよろしいでしょうか。各委員の皆様からのご意見などもありますでしょうか。</p>
10:20	会長	<p>前回の審議会で修正があった箇所を修正した内容で答申してもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の会次第に進めていきたいと思っております。</p>

		<p>本日、経営戦略に関する答申を行います、「答申書」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
10:20	事務局	<p>3. 答申書について *配布資料の説明</p>
10:45	会長	<p>3. 答申書について ご説明ありがとうございました。 答申書には、水道事業及び下水道のポイントの他、付帯意見が3項目付してあります。事業評価と進捗管理に関すること、3-5年毎に見直しを図ること、改定に際しては丁寧な対応に心がけることとしています。 各委員の皆様からご意見などはありますでしょうか。</p>
10:50	会長	<p>委員の皆様、ありがとうございました。 昨年5月に審議会が設置され、皆さまと初めてお会いすることになり、ここまで8回の審議会と視察研修を経て、豊見城市の上下水道事業に関する審議をかさねてきました。当初4回で終了する予定の審議会ではありましたが、皆様の豊見城市を愛する気持ちでより深い審議するために2度の回数増を重ね、本日、最終の審議会を迎えております。 終えれば、早かった印象ではありますが、各委員のそれぞれの視点でのご意見などもしっかり反映されてきたと考えております。 それでは、この内容で答申することにしてもよろしいでしょうか。 ～各委員を確認～ ありがとうございました。それでは、この内容で答申することにいたします。それでは、事務局よりよろしく願いいたします。</p>
10:55	事務局	<p>ご審議ありがとうございました。この一年間、下水道使用料の値上げ等、市民生活に影響のある事項について審議していただき、また、今後の基本方針となる経営戦略もここまでまとめていただき、ありがとうございました。 その後、会長より答申する流れを作っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。 さて、この後は、「経営戦略の改定」についての答申を行いますので、応接室への移動をよろしく願いいたします。 会長より市長への答申後、各委員の皆様より一言いただく予定となっ</p>

	<p>ております。併せてよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、令和5年度の当審議会は終了となり、答申書手交式を残すのみとなりますが、5/23に交付しております委嘱状に記載している通り、豊見城市上下水道事業審議会規程第4条に則り、任期は2年となっており、R5.5/23～R7.3/31までとなっております。次年度は、経営戦略記載のとおり事業評価などを行う予定でございます。その際には、今年度同様、よろしくお願いいたします。</p> <p>答申書手交式につきましては、11:00に前倒して行います。移動の方、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、審議会はこれで終了となります。ありがとうございました。</p>
<p>質疑、意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略で示されている人口推移と先日、新聞報道で示された人口予測に差異がある。 →経営戦略の人口推移については、市の総合計画で採用している人口推移を活用している。新聞報道の人口予測とは、採用している統計資料が違ふことが影響している。 ・原価計算書が、R6-9年度の計算期間となっている。経営戦略の期間R6-15年度との際については、どうか。 →今審議会で調査審議しております使用料水準検討の際、使用料対象期間をR6-9年度の4年間と設定し調査審議しております。原価計算書もその対象期間に合わせ、作成しております。 ・令和6年度水道事業予算書を確認すると、キャッシュフロー計算書より資金残高が、6千万減少して10億円となっている。水道事業も厳しくなり、いよいよ下水道事業へ貸付が厳しくなっている。 ・内部留保額は、資産の約3割程度保有することが望ましい。現在、水道事業においても約1割程度しか保有していない。大規模更新するには少ない。今後、要検討課題である。 ・水道料金、下水道使用料については、改定から長期間そのままの金額である。今後は、社会経済情勢を踏まえると、今後は更に厳しく深刻な状況が予想される。事業計画の見直し、資金を要することは、極力やめる。費用対効果をしっかり検討する必要がある。

・今回の経営戦略に具体的には記載しないが、次回以降、①事業経費を念頭に置いた水道料金の改定の必要性の検討、②農業集落排水事業の運営方法については、課題として改めて検討を要する。

○8回の審議会を経ての各委員からの感想、意見

・水道事業も経営が厳しくなる予想を初めて知った。

・市の事業について、知ることが出来た。地域の皆さんにアナウンスしていきたい。

・市民として事業するものとして、上下水道は欠かせない。安定的な運営を望みますが、事業の厳しさを知り、衝撃であった。また、より多く市民に知ってもらい、協力してもらえよう広報を強化する必要性を感じた。

・今回、上下水道に関する理解が深まり、内容把握ができた。

・審議会にて上下水道事業について、たくさん勉強することが出来た。沢山の気づきもあり、対応できるところから早めに取り組む必要があると思った。

・公共料金は安ければ安いほど良いと考える中、やはりそこは難しい。全国的にも料金と経営戦略の改定の両方を一年でやったことは、とてもすごいこと。会長はじめ、審議会の皆さんのお陰だと思えます。

・今回、この審議会の経験から、周りの自治体の経営は大丈夫なのかという視点も出てきた。毎年度の事業評価などを行い、その時点での位置付けを確認することで、見直しの気概を示すこともできると思う。

・市民への広報強化は必要と思う。